



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 若者の成育環境と自己肯定感について

北川教育長

### 学校の課題を地域と共有し 地域総がかりで子どもたちを育みたい



植西 浩一 議員

■答弁・北川教育長

令和3年度全国学力・学習状況調査において、自己肯定感や地域への関心度ともに全国平均よりも高い結果でした。これは幼少期から家庭や学校、地域での様々な体験を通じて成就感・達成感を得たり、他者から認められる機会が多かったりしたことが考えられます。

しかしながら、低評価で消極的な少数の生徒に対し重く受け止め、家庭や学校・地域とともに考えなくてはならないと思います。

□植西議員 及第点を取れない子

ことや入居希望者の努力にかかわらず保証人が見つからない場合は緊急連絡先の登録をもって入居を認めるなど特段の配慮を行うこと、特に災害により住宅を失った者が災害住宅に入居する場合において保証人の確保を求めないなど、入居者の事情に配慮した丁寧な対応をするよう通知されています。

□植西議員 及第点を取れない子



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

## 公営住宅の連帯保証人を規定削除する考えは

村中町長

### 連帯保証人の規定免除や緊急連絡先の登録など令和4年度に向けて研究する



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

公営住宅の入居者で、身内がない、頼れる人がいないなどの高齢者が増えていきます。保証人がいないことで低所得者の入居を妨げることは公営住宅法の趣旨に反するとして、保証人の規定削除の自治体が増えていきます。

国は平成30年度に通達がありました。緊急連絡先で良い自治体も出てきています。令和2年8月時点では、規定削除を全国23%の自治体で検討中との報道もあります。

公営住宅の建て替えのため引越を余儀なくされたが、保証人がいなくて新しい住宅へ入れないで困っている方をどうやってスムーズに転居してもらうのか、町長に次の項目を質問します。

- ①保証人が見つからなくて入居ができなかった事例はあるか。
- ②公営住宅条例から保証人の規定削除の考えはあるか。または、緊急連絡先で良いとの考えをいくつかのか。
- ③入居契約者が死亡した場合、同居者に新たな保証人を求めるのか。

■答弁・村中町長

国土交通省住宅局からは、民法の改正に伴い、保証人を要する場合には極度額の設定が必要になる

□質問・植西議員

町では、食と脳の関係、運動と脳の関係など、子どもたちの学ぶ環境づくりに工夫されていることと思います。学校給食も置戸町の栄養教諭であった佐々木十美さんのアドバイスにより、ミネラルベイスを取り入れた給食づくりを進めたり、また、タブレットをいち早く取り込み、ICT化を進めていることは旭川市議会、近隣町などでも、ものすごく評価をされています。

そこで教育長の理想とする成育環境とはどのようなものなのか、それをどのようにして若者の自己肯定感につなげていくのか、お考えをお聞かせください。

■答弁・北川教育長

令和3年度全国学力・学習状況調査において、自己肯定感や地域への関心度ともに全国平均よりも高い結果でした。これは幼少期から家庭や学校、地域での様々な体験を通じて成就感・達成感を得たり、他者から認められる機会が多かったりしたことが考えられます。

しかしながら、低評価で消極的な少数の生徒に対し重く受け止め、家庭や学校・地域とともに考えなくてはならないと思います。

□植西議員 及第点を取れない子

ことや入居希望者の努力にかかわらず保証人が見つからない場合は緊急連絡先の登録をもって入居を認めるなど特段の配慮を行うこと、特に災害により住宅を失った者が災害住宅に入居する場合において保証人の確保を求めないなど、入居者の事情に配慮した丁寧な対応をするよう通知されています。

□植西議員 及第点を取れない子

しかし、昨今の社会情勢の変化を踏まえ、今後においては保証人の必要性や滞納抑止につながる対応策等について他自治体の事例などを研究し、緊急連絡先でも入居可能とする方向で検討します。

- ③同居者が継続して入居する場合には、新たな契約者としてその同居者と入居請書を取り交わすこととなりますので、新たな保証人の連署が必要になります。

なお、保証人の制度を廃止し、緊急連絡先とした場合においても、新たな緊急連絡先が必要であると考えています。

子どもたちの成育環境をどのように保障していくかとお考えですか。

■北川教育長

令和3年7月の学校運営協議会で、中学校から課題が紹介されました。このように地域と課題を共有し、地域総がかりの教育を実現することにより、必要な資質・能力を育むことができると考えています。

□植西議員 学校の先生方とまた違う目を持ったスクールカウンセラーのような第三者を学校に常駐させることは積極的関与につながるのではないですか。

■北川教育長

本町に在住しているスクールソーシャルワーカーも、教育委員会も、学校も、学校運営協議会委員の皆さんも協力しながら、学校の課題を共有していくことが大切だと考えています。

また、先生方のガバナンス（組織系統）を徹底し、責任の所在を明確にした上で、町として教育の責任を取っていききたいと考えます。

□植西議員 なかなか9年間では、しっかりと学びきれない子どもたちもいます。その中には特長を持っている子どももいますし、特長自体を自分で見出せない子どもも



北町令和団地A棟

□遠藤議員 3年度中の改正を指して研究をするのか、または4年度になるのか。

■村中町長 町内の町営住宅入居者が転居する場合、どうしても本人が努力したにもかかわらず、保証人がいないというときは、これまでも猶予という形で入居し、後日、保証人を探していただいています。

他の自治体の中には保証人から緊急連絡先へと、すべて変えてしまっている場合も、その前段として、免除できる場合を規定している自治体もありますので、どのような方法がいいのかを研究しながら、できれば令和4年4月から施行したいということも考えています。

近隣中央部8町のうち、4町が改正をしています。当面、町内に限って行うことができると思っています。

■北川教育長 私も体験や経験が大切で、白寿大学や高齢者の皆さんとの関わり、交流、そして、生きざまや知恵を学ぶ機会はとても必要に思います。

現在開催している「ほぐれい塾」では、2か月ぐらいに1回は体験として理科実験など学校ではあまりできないことを取り入れるように計画して行いました。子どもたちは机の上の学習だけではなく、教室から出て学ぶこともたくさんありますし、体験して学ぶこともたくさんあります。人と関わりを持つことで学ぶこともたくさんありますので、そのようなことを次年度以降も十分に考え、本町の子どもたちがすくすくと成長していけるように努めてまいりたいと思います。